安全データシート

SDS
Orange-Sol, Inc.

クリンアウエイ

作成日・改訂日　2025年11月17日

1 化学品及び会社情報

製品識別	クリンアウエイ
商品コード	50757-265
製品の使用	厨房の油汚れ、グリース、オイル、垢、チリや食品の染みの除去

SDS 作成先の詳細

製造者・販売者	輸入者
ORANGE-SOL、Blending & Packaging	株式会社ドーイチ
1400 N. Fiesta Blvd., Bldg. 100	〒273-0005　千葉県船橋市本町1-9-11
Gilbert, AZ 85233-1000 USA	海外事業部
Toll Free 800-877-7771	047-431-1268
Tel: +1-480-497-8822	047-431-1270

2 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分に該当しない
	目に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2B
	急性毒性（経口）	区分5
	急性毒性（吸入）	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	区分に該当しない
	生殖毒性	区分に該当しない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（復ばく露）	区分に該当しない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分　急性2
	水生環境有害性（長期間）	区分　慢性3
	オゾン層へに有害性	分類できない

GHSラベル要素

この製品はGHSに従って分類、表示されている。

注意喚起語　　警告

危険有害性情報（Hコード）

H320 ： 眼刺激
H303 ： 飲み込むと有害のおそれ
H401 ： 水生生物に毒性
H412 ： 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き（Pコード）

【予防】

P264 ： 取り扱い後はよく手を洗うこと。
P273 ： 環境への放出を避けること
P301 ： 飲み込んだ場合： 水で洗い流し決して吐かせないこと。
P280 ： 保護手袋・保護眼鏡を着用すること。

【応急措置】

P301＋P312 ： 飲み込んだ場合 ： 気分が悪い時は医師に連絡すること。
P331 ： 無理に吐かせないこと。
P302＋P352 ： 皮膚に付着した場合 ： 多量の水と石鹸で洗うこと。
P332＋P313 ： 皮膚刺激が生じた場合 ： 医師の診察、手当を受けること。
P305＋P351＋P338 ： 眼に入った場合 ：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外す。
P337＋P313 ： 眼の刺激が続く場合 ： 医師の診察を受けること。

【保管】

P405 ： 施錠して保管すること。

【廃棄】

P501 ： 内容物・容器を地方自治体の規定に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報

労働安全衛生法施行令　第18条第3号及び第18条の2第3号の規定（2026年４月１日施行分）対応済

単一・混合物の区別　：　混合物

化学物質

成分名/化学名	含有量　(wt%)	CAS　№.	毒物劇物取締法	化審法	安全衛生法	PRTR法
オレンジオイル	非公開	8028-48-6	非該当	非該当	非該当	非該当
水	20	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当
界面活性剤	4					
ココ酸カリウム	-	61789-30-8	非該当	政 178	非該当	非該当
メチル2-スルホラウリン酸ナトリウム	-	4016-21-1	非該当	非該当	非該当	非該当
２－スルホラウリン酸2ナトリウム	-	38841-48-4	非該当	非該当	非該当	非該当

4 応急措置

吸入した場合　空気の新鮮な場所に移すこと。刺激が続く場合は医師に連絡すること。

皮膚への接触　直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。刺激が続く場合は、医師に連絡すること。

眼との接触　水で少なくても15分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。刺激が続く場合は、医師に連絡すること。

経口摂取　無理に吐かせないこと。肺に入ると化学的肺炎を起こすことがある。

5 火災時の措置

適切な消火剤　二酸化炭素または乾燥した化学的泡消火剤。

物質または混合物から生じる特殊危険物　有機材料と同様、燃焼は二酸化炭素や一酸化炭素を生成する。

消防士のための助言

保護装置　消防士は適切な保護具と自給式呼吸器（SCBA)及びフルフェイスマスクを加圧モードで着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の措置　必須ではない

環境に対する予備措置　必要な特別措置なし

封じ込め及び浄化の方法及び機材　吸着剤（砂、珪藻土、酸バインダー、一般的なバインダー、おがくず）で吸着する

他の項目の参照　安全な取り扱いについては、7項目を参照。
個人的な保護装置については、8項目を参照。
廃棄については、13項目を参照。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意	必要な特別措置なし。 長時間の皮膚接触を避ける。使用後影響を受けた皮膚を洗う。
安全な保管条件	容器を密閉して熱、火花、裸火、高温なもののような着火源から遠ざけて保管する。 乾燥した換気の良い冷所（氷点以上）で保管。 追加情報なし。

8 暴露防止及び保護措置

設備対策	追加データなし。7項目を参照。
管理濃度・許容濃度	設定する必要なし。
個人用保護具	化学物質を処理するため通常の予防措置に従うこと。
呼吸措置	噴霧の吸入を避ける。
手の保護具	長時間の暴露に備えて手袋を推奨する。
手袋の材質	化学物質に対応する手袋。
眼の保護具	跳ね返りの可能があるので保護眼鏡を推奨する。

9 物理的及び化学性質

外環	
物理的状態	液体
色	薄い琥珀色
臭い	軽い石鹸の臭い
pH値	9-9.5
沸点	未定
引火点	なし
可燃性	非可燃性
自然発火温度	自然発火はしない
爆発の危険性	なし
燃焼の限界	
下限	未定
上限	未定
蒸気圧	未定
比重	1.01
20℃（68℉）蒸気濃度	（空気 ＝1） ＜ 1
蒸発率	（BuAc＝1） ＜ 1
水溶解性	水に混和する
その他のデータ	なし

10 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	反応性なし
避けるべき条件	熱や発火源から離す
混解危険物質	強力な酸化剤、酸とアルカリ
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11 有害性の情報

急性毒性	
皮膚刺激性	軽度
眼刺激性	軽度
感作性	情報なし
追加の毒性学情報	仕様に従って使用されれば製品は、製品は過去の経験、又提供された情報では有害な影響はなし
発がん性のカテゴリー	
IARC（国際がん研究機関）	全成分が有害リストに記載されてない
NTP（米国国家毒性プログラム）	全成分が有害リストに記載されてない
OSHA-Ca（米国労働安全衛生局）	全成分が有害リストに記載されてない

12 環境影響情報

毒性	
水性環境毒性	追加情報なし
滞留性・分解性	追加情報なし
環境システム内の動き	
生態蓄積性	追加情報なし
土壌中の移動性	追加情報なし
追加生態上の情報	
注記	生分解性
PBT 及び vPvB評価の結果	
PBT	該当しない
vPvB	該当しない
その他の有害情報	追加情報なし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物処理方法	
推奨事項	生分解性。この製品は、米国資源保全再利用法（RCRA）により評価されている。購入した形状で破棄する場合、有害廃棄物の範中には入っていない。
汚染容器包装	
推奨事項	廃棄する時は、関連法規に従って行うこと。

14 輸送上の注意

国際規制	航空輸送は、IATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連番号	該当しない。
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない。
国連正式品名	規制されていない。
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない。
輸送の危険性クラス	規制されていない。
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない。
梱包グループ	規制されていない。
DOT、ADN、IMDG、IATA	規制されていない。
環境の危険性	
海洋汚染物質	該当しない。
ユーザーに対する特別な注意	該当しない。
MARPOL73/78の附属書 Ⅱ及びIBCコードに従ってのバルク輸送	該当しない。
国内規制	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	「漏出時の処置・漏出時の設置」の項を参照。 「取り扱い及び保管上の注意」の項を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷崩れ防止を確実に行う。 該当法規に従い、包装・表示・輸送を行う。

15 適用法令

米国内適用法令	
物資または混合物に対する安全・衛生・環境規制・法律	
SARA（スーパーファンド修正および再授権法）	
セクション355 （非常に危険な物質）	全成分が有害リストに記載されてない。
セクション313 （特定の有害な化学物質リスト）	全成分が有害リストに記載されてない。
TSCA （有害物質規制法）	全成分が有害リストに記載されてない。
プロポジション65	
がんを引き起こすと知られている化学物質	全成分が有害リストに記載されてない。
女性の生殖毒性を引き起こすことで知られている化学物質	全成分が有害リストに記載されてない。
男性の生殖毒性を引き起こすことで知られている化学物質	全成分が有害リストに記載されてない。
発育毒性を引き起こすことで知られている化学物質	全成分が有害リストに記載されてない。
発がん性の分類	
EPA（環境保護庁）	全成分が有害リストに記載されてない。
TLV（環境衛生専門家会議によって設立された許容濃度）	全成分が有害リストに記載されてない。
NIOSH-Ca（労働安全と健康国立研究所）	全成分が有害リストに記載されてない。
GHSラベル要素	製品の分類とラベルはGHSガイドラインに従ったものである。
GHS危険ピクトグラム	有害成分がない。
注意喚起語	警告
GHS危険有害性情報	非可燃性液体
注意書き	特定対策　ラベル参照 汚染された衣類を再使用前に洗うこと 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断・手当を受けること 眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当を受けること 飲み込んだ場合無理に吐かせないこと 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと
保管	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること 換気の良い冷所で保管すること
国内適用法令	
化学物質排出把握管理促進法	該当しない。
労働安全衛生法	該当しない。
毒物及び劇物取締法	該当しない。
火薬類取締法	該当しない。
高圧ガス保安法	該当しない。
消防法	該当しない。
化審法	特定・監視・優先評価化学物質に該当しない。
船舶安全法	該当しない。
航空法	該当しない。
海洋汚染防止法	該当しない。

16 その他の情報

ディレクティブ 67/548/EEC

又は、指令 1999/45/ECによる分類	該当しない。
人間と環境に対する有害性	製品は国際ガイドラインの計算手順によりラベルを付ける必要ない
分類体系	分類は国際物質リストの最新版に基き作成され、会社及び文献データを使用している。

ラベル要素

ECのガイドラインに従ったラベル	化学物質を扱うときは、一般的な安全規制に注意を払う。 有害部室に関する指令によると製品は識別規制に従う必要はない

分類体系

NFPA レーディング(0-4)

健康 ＝0
火 ＝0
反応性＝0

HMIS レーディング(0-4)

健康 ＝0
火 ＝0
反応性＝0

他の危険性

PBT及びvPvB評価結果	
PBT	該当しない。
vPvB	該当しない。

記載内容は当社の最善な調査に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有りえるため、取り扱いには細心の注意が必要です。
ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定してくださるようお願いします。
また、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用ください。